



2025

DISCLOSURE



あなたのあしたに
西京銀行

2025 DISCLOSURE

Contents

ごあいさつ	1
経営方針	2
西京銀行について	3
2025年3月期財務ハイライト(単体)	4
中小企業の経営改善および 地域活性化のための取組みの状況	5
サステナビリティに関する 考え方および取組み	10
業務のご案内	15
役員一覧	16
会計監査人	16
従業員の状況	16
組織図	17
店舗のご案内	18
店舗外ATM設置場所	19
当行の考え方	20
会社の沿革	28
資料編	29
法定開示項目	104



会社概要

2025年3月31日現在	
名 称	株式会社西京銀行
所 在 地	周南市平和通1丁目10番の2
創 業	1930年
総 資 産	2兆5,998億円
預 金	2兆1,393億円
貸 出 金	1兆7,853億円
資 本 金	284億円
店 舗 数	32店舗 店舗内店舗形式での店舗統合による実質店舗数
従 業 員 数	612名 (注) 従業員数は、嘱託及び臨時従業員 72名を含んでいません。

ごあいさつ

皆さま方には、平素より西京銀行に格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当行では、長期ビジョンである「地域に根差した中小規模事業者さまと個人のお客さまのための銀行」の実現に向け、地元（山口県・広島県・福岡県）のお客さまからお預かりしたご預金を、資金を必要とされる地元事業者さまや個人のお客さまにお使いいただく「資金の地域内循環」を積極的に進め、地域シェアの拡大を推進した結果、2025年3月期は、預金・貸出金残高ともに、地域の皆さまからのご支持により過去最高残高を更新し、当期純利益は5期連続で最高益となりました。

当行の主たる営業エリアである山口県は、人口減少により、地域経済をめぐる環境は一層、厳しさを増すことが予想されます。

こうした環境下、当行は、2025年4月から2028年3月まで（3ヵ年）を計画期間とする新中期経営計画を策定しました。「地域のシンクタンクになる！」をコンセプトに、地元事業者さまや個人のお客さまの多様な課題やニーズに積極的に取り組み、これまで以上に地域のお役に立つ銀行を目指してまいります。

具体的には、2024年10月に新設した「ビジネスコンサルティング部」を中心に、地元事業者さまに対する伴走型の経営戦略立案をはじめ、DX・IT化の推進、インドネシア進出サポートなど、課題解決や事業価値向上に向けたコンサルティングをさらに強化します。

個人のお客さまに対しては、ご好評いただいている「退職金定期預金」などのキャンペーン預金の金利上乘せを継続するとともに、アプリバンキングの全面刷新による機能拡充を通じて、預金口座サービスの向上を図るなど、より一層の商品・サービスの充実に取り組んでまいります。

また、人的資本経営の推進の一環として、女性活躍推進法に基づく『一般事業主行動計画』を策定しました。今後、仕事と家庭の両立支援や女性活躍に向けた職場環境の整備を一層進めるため、「プラチナえるぼし」の取得を推進し、「女性が働きがいのある銀行日本一」を目指してまいります。

当行は「金融を通じて地域の皆さまのお役に立つ」というミッションの下、一人でも多くのお客さまにお取引いただける銀行を目指し、引き続き努力してまいります。



2025年7月 取締役頭取 松岡 健